

令和8年5月23日(土)

午前10時~午後3時

会場:群馬県庁 県民ホール

上州三大祇園祭 お囃子演奏会

華やかな豪華な演奏会です!!



©群馬県 ぐんまちゃん 00565-06

10:00

開会セレモニー

10:30~11:00

沼田祇園囃子演奏

11:00~11:30

大間々祇園囃子演奏

11:30~12:00

世良田祇園囃子演奏

13:00~13:30

沼田祇園囃子演奏

13:30~14:00

大間々祇園囃子演奏

14:00~14:30

世良田祇園囃子演奏



10:00~15:00

三大祇園祭 紹介コーナー

お祭りの歴史や記録・昔の写真現在の様子を展示致します。今年のお祭り情報もお見逃し無く。

主催: 上州三大祇園祭研究会

共催: 沼田祇園囃子保存会連合会

大間々祇園まつり実行委員会

世良田祇園まつり実行委員会

後援: 群馬県・沼田市・みどり市・太田市

群馬県では、昔から「沼田の祇園祭」「大間々の祇園祭」「世良田の祇園祭」を上州三大祇園祭と称していました。群馬を代表する三つのお祭りが連携し、上州の祭を全国に発信し、群馬の文化を元気にする先陣をきります。

沼田祇園祭

毎年8月3日から5日に行われる須賀神社、榛名神社のお祭りを利根沼田の人々は「おぎょん」と呼びます。これは崇敬と親愛の情を込め「お祇園祭」から「おぎょん」となまったものです。沼田祇園祭は、天正18年(1590)に氏神様として牛頭天王宮が祀られて以来、その歴史は500年にもものぼります。そして歴代城主は天王宮に対する敬神の念篤く、時には城主自ら御輿の送迎を行なったとの記録も残されています。

沼田町全町あげて盛大に行われ、明治、大正、激動の昭和と時は流れ、幾度となく消滅の危機を乗り越え沼田祇園祭は伝承されてきました。そして昭和46年「沼田まつり祇園祭」とその名を変えましたが、先祖より受け継がれた血のうごめきの祭りは、今も賑やかに繰り広げられています。



大間々祇園祭

みどり市指定無形民俗文化財「大間々祇園祭」は、寛永6年(1629)に始まり、400年にならんとする歴史を持っています。大間々の氏神として八坂神社を祀り、銅街道の宿場町として発展した大間々町の悪疫退散、五穀豊穡を祈念して、神輿を新造し、渡御したのが大間々祇園祭の始まりとされています。文政12年(1829)大間々に町制が施かれたことを祝って、香木の白檀で獅子頭一對を新調し、これを当番町の山車に乗せて神輿の後につき、各町の山車が囃子を奏で各町を巡り、大間々祇園祭が確立しました。

8月1日の夜宮、2日には塩振り、大榊、神馬、神輿渡御などの神事、3日には氏神様への御礼神事と当番町のお礼参りなど、賑やかな祭礼が繰り広げられます。



世良田祇園祭

世良田祇園祭は世良田八坂神社の祭礼で、その歴史は古く450年前にまでさかのぼります。豪華絢爛な大型屋台が繰り出し、夜通し曳き廻され、かつては神田明神祭、秩父妙見祭と並び、関東三大祭のひとつとして賑わっていました。しかし、市町村合併や交通事情などにより徐々に衰退していきましたが、平成21年に8台の屋台が修復されたことを機に復活。現在は世良田全域の屋台が一堂に集い、伝統の「祭り囃子」や「世良田小唄」を披露、クライマックスには花火を打ち上げて、かつての栄華を現在に蘇らせています。

